

原子力利用の将来像についての検討委員会分科会の設置について

分科会名：原子力学の将来検討分科会

1	委員の構成	分科会は、会員又は連携会員若干名をもって組織する。
2	設置目的	<p>日本学術会議としての歴史を踏まえた、原子力発電、そして原子力の平和利用に対する現在の考え方を総括するとともに、これらの課題に対する学術的観点からの検討結果を国民ならびに世界に対して示すために 2012年 9月に設置した「原子力利用の将来像についての検討委員会」は、その審議範囲が原子炉力発電の安全性、放射線の利用に係る課題、原子力学に関する人材育成、原子力学の研究の方向性等、極めて広範であり、2012年 12月 19日に開催された原子力利用の将来像についての検討委員会(第一回)において、調査検討すべきテーマ毎に分科会を設け、集中的に審議を進めることとなった。</p> <p>本分科会では、原子力発電以外の原子力の平和利用の展望と安全性及び国民世論との関係の検討や、その基盤となる原子力学における人材育成、原子力学の研究の方向性に関することを調査審議するために設置するものである。</p>
3	審議事項	<p>原子力発電以外の原子力の平和利用の展望と安全性及び国民世論との関係の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原子力学の将来展望（研究等の方向性や人材育成を含む。） ○原子力学の社会利用や他の学術領域での利用に関する展望 ○原子力学の利用と国民世論
4	設置期間	<p>時限設置 平成 24 年 12 月 21 日～平成 26 年 9 月 30 日</p> <p>常設</p>
5	備考	